

第 10 回院内コンサート ♪

2018 年 11 月 18 日（日）

アンサンブル・プティ・ボワの皆さまをお迎えし、第 10 回 湘南鎌倉総合病院
院内コンサートを開催しました。

2016 年 12 月に第 1 回のコンサートを開催してから約 2 年、今年は回数を増やし、
歌や合唱のコンサートも行いました。

さて「第 10 回」の節目となるコンサートは、いつ、どなたに演奏していただくか？

少し趣向の違う演奏会にできたら…と考えていた折に、ちょうど開催が決まった
のが、「湘南鎌倉総合病院 第 1 回病院祭～医療・介護フェスティバル～」でした。
まさに第 10 回の院内コンサートの舞台にぴったり ♪

そして、第 1 回に出演してくださった鎌倉市立第二中学校吹奏楽部をご指導され、
その後も院内コンサートにアドバイスをくださっているファゴット奏者の深山様
がアンサンブルの皆様と演奏してくださることになりました。

「このロビーで、このピアノで、モーツァルトの五重奏を演奏できたら素敵でしょ
うね」とのお声があったそうで、曲目はすんなり決まったと伺いました。

演奏曲目は、Divertimento No. K.439（ディヴェルティメント～喜遊曲）の
第 1 楽章と Quintet K.452（ピアノと管楽のための五重奏曲）全 3 楽章 ♪
アンコールは、きらきら星の主題による変奏曲、と全てモーツァルトの曲でした。

会場は日曜日の午後の暖かな日差しと管楽器の柔らかな音色に包まれました。
さらに管楽器にピアノが加わると格段に音が豊かになります。大勢の皆さまで
満席になったエントランスに、モーツァルトの豊かな癒しの空間が広がりました。

どの楽器が欠けても、ちょっとバランスが崩れても成り立たないアンサンブルの妙
を堪能した 30 分となりました。

予想を上回る大勢の方にご来場いただきました。ご来場くださいました皆さま、
アンサンブル・プティ・ボワの皆さま、ありがとうございました。



スタートは、木管楽器の3人のメンバーによる「ディヴェルティメント～喜遊曲」
左から、オーボエの小林晃子様、ファゴットの深山智哉様、クラリネットの梶原愛子さま。



ピアノの黒澤美雪様とホルンの大出佳子様に加わり、今回のコンサートのメインの楽曲
「ピアノと管楽のための五重奏曲」を演奏していただきました。



当日は、第1回病院祭～医療・介護フェスティバルを開催しました。
病院の中では、医療講演、骨密度や血管年齢の簡易測定、介護職の試食、健康相談など、
そして外では、アニマルセラピーや介護車両、救急車の展示などが企画され、おかげさまで多くの方にご来場いただきました。音楽も犬も偉大な癒しの力を持っています。



院内コンサートも大勢の皆様にお楽しみいただきました。



これからも、入院通院患者様、近隣の皆様、音楽を愛する皆様にお楽しみいただけるコンサートを企画してまいります。

第10回院内コンサートのプログラムとチラシ、ポスターです。

湘南鎌倉総合病院

第10回 院内コンサート

日時：2018年 11月18日（日）
14:30～15:00

出演：アンサンブル・ブティ・ボウ

黒澤 美雪（ピアノ）
 小林 晃子（オーボエ）
 梶原 愛子（クラリネット）
 大出 佳子（ホルン）
 深山 智哉（ファゴット）

曲目：モーツァルト

- ◆ Divertimento No.1 K.439
 （ディヴェルティメント～喜遊曲）
- ◆ Quintet K.452
 （ピアノと管楽のための五重奏曲）

アンサンブル・ブティ・ボウ
 ～メンバーのプロフィール～

黒澤 美雪：ピアノ
 東京藝術大学音楽学部卒業。国際ロータリー財団奨学生としてオーストリアザルツブルグのモーツァルテウム音楽大学に留学。長年にわたり藤沢市民オペラの音楽スタッフを務め、藤沢市の音楽活動を支えている。湘南台トワイライトコンサートや、オペラガラコンサートにも出演。

小林 晃子：オーボエ
 武蔵野音楽大学卒業。独奏、室内楽などを中心に地域の学校での楽器指導に定評がある。鎌倉ジュニアオーケストラ指導者。

梶原 愛子：クラリネット
 東京ミュージック＆メディアアーツ尚美卒業。独奏、室内楽を中心に活動中。音楽以外にも幅広い知識を有する。

大出 佳子：ホルン
 日本大学芸術学部卒業。東京ミュージック＆メディアアーツ尚美ディプロマコース修了。独奏、室内楽などを中心に活動中。湘南リラフィル専門演奏員。高い音楽の分析力を持つ。

深山 智哉：ファゴット
 洗足音楽大学並びに専攻科卒業。学生から一般団体まで吹奏楽、管弦楽の指導経験をもつ。湘南リラフィル専門演奏員兼副指揮者。

解説

WA. モーツァルト（1756-1791）は、約35年という短い人生で600曲以上と伝わる珠玉の作品群を残しました。

本日1曲めに聴いて頂く「ディヴェルティメント～喜遊曲」の原曲は、2本のバセットクラリネット（クラリネットの同族楽器ですが、現在はあまり活躍する機会が多くはありません）とファゴットの為に作曲されたと伝わっています。作曲は1783年。

K439（後世のケツヘルにより付けられた整理番号）から察しますと、27歳前後の時期の作品と考えられます。喜遊曲というタイトルの様に、楽しく、明るい曲です。本来は5つの楽章からなりますが、本日は1楽章のみ聴いて頂きます。

「ピアノと管楽のための五重奏」（1784年作曲）は、あの有名なベートーヴェンがとても好み、憧れ、彼自身も後から全く同じ楽器構成（Pf,Ob,Cl,Hrn,Fg）、楽章構成（急～緩～急の3楽章）、調性（変ホ長調）、ほぼ同じ演奏時間（24～26分程度）で作曲をし、名曲を残しています。

気難しい印象のベートーヴェンが、これほどまでに共通点を持つ曲を作るのは、他にあまり例が無いように思いますし、それほどにこのモーツァルトの曲は素晴らしいと言えます。

後にフランスで、この様なピアノと管楽器が混在する曲はたくさん生まれています。そちらにもこの曲の影響はあると考えられます。本日は3楽章全て聴いて頂きます。

皆さま、どうぞ最後までお楽しみください。

湘南鎌倉総合病院 第10回 院内コンサート

日時：2018年 11月18日 (日)
14:30～15:00

出演：黒澤 美雪 (ピアノ)
小林 晃子 (オーボエ)
梶原 愛子 (クラリネット)
大出 佳子 (ホルン)
深山 智哉 (ファゴット)

場所：当院1階エントランス

曲目：モーツァルト
ピアノと管楽のための五重奏曲

第1回 湘南鎌倉総合病院 病院祭 ～医療・介護フェスティバル～

の中で、第10回 院内コンサートを開催いたします。

当日は10:00より15:00まで、医療講演、骨密度測定、
血管年齢検査、お子様向けイベント、アニマルセラピー、
スタンブラリーなど、院内で様々なイベントを企画しています。

ぜひ、イベントへのご参加と併せ、ご来場ください！

お問い合わせ：病院祭～医療・介護フェスティバル委員会 / 院内コンサート実行委員会

湘南鎌倉総合病院 第10回 院内コンサート

日時：2018年 11月18日 (日)
14:30～15:00

出演：アンサンブル・ブティ・ボワ

黒澤 美雪 (ピアノ)
小林 晃子 (オーボエ)
梶原 愛子 (クラリネット)
大出 佳子 (ホルン)
深山 智哉 (ファゴット)

曲目：W.A.モーツァルト

◆ Divertimento No.1 K.439
(ディヴェルティメント～喜遊曲)

◆ Quintet K.452
(ピアノと管楽のための五重奏曲)